

大丹波・上部ボルダー

2017.2.1 (2021 追記) rctK

以前、大丹波ボルダーの下部エリアについては、日本登攀クラブの記録に補足追加する形で紹介したが、今回は上部ボルダーについて未だ公開されていないものを下に紹介する。多分下部ボルダー同様何年か後には、自然に戻ってしまうと思われる。

朴橋より上流部のボルダーは日本登攀クラブにより幾つか紹介されているが、それ以外のボルダーについては、苔の発達が酷く、夏や雨後は結露等で濡れていることが多いため、また、見栄えのするボルダーもなかったためかトライしようという者はほとんどおらず、現在まで残されていた。

昨年(2016年)初夏から秋ごろまで何回か訪れた時は結露が酷く、掃除だけして帰って来ることが多かったが、晩秋から初冬にかけて、ようやく状態が良くなり、何日かトライした結果、年末までに一区切りつけることができた。

今回紹介するボルダーの中にはボルダーと言うには大きすぎるものがあり、トップロープの岩場として紹介してある。もしリードルートエリアとして整備したい方がいたら、個人の責任で行っても構わない。

下部ボルダー周辺と同様に、この上部ボルダー付近も不法投棄やポイ捨てが非常に多く、今回もまた多量のゴミを回収した。その中身については、登山者やクライマーが捨てたものではなく、業者が捨てたと思われるペンキの缶や、昔から現在に至るまでに山仕事で捨てられたペットボトル、空き缶、空き瓶類、そして釣り師が捨てた空の餌箱等が非常に多かった。また林道のあちこちには煙草の吸殻も沢山見られた。毎回お願いすることで恐縮ではあるが、もし行かれることがあったら少しでも良いので拾って持ち帰っていただきたい。

●Sスラブエリア

このエリアは駐車スペースから至近距離にあり、対岸にSスラブが見える。

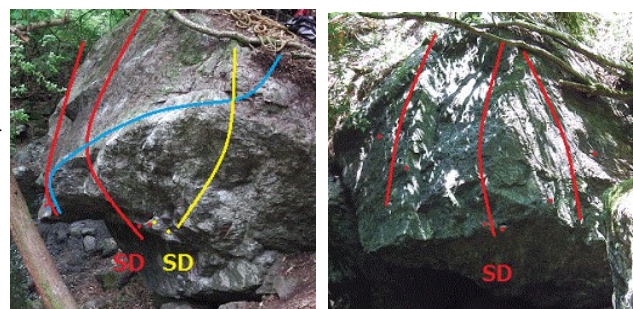
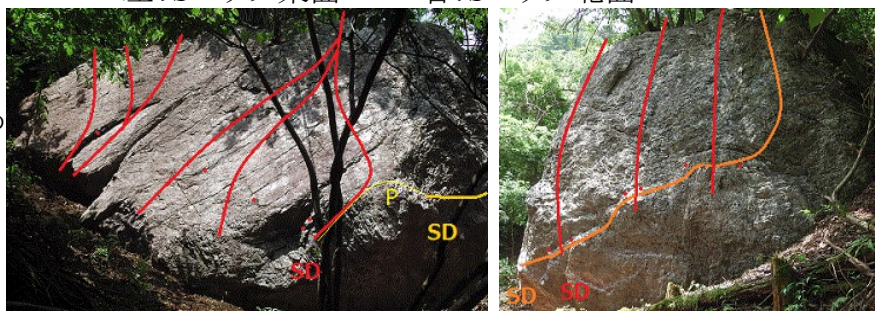
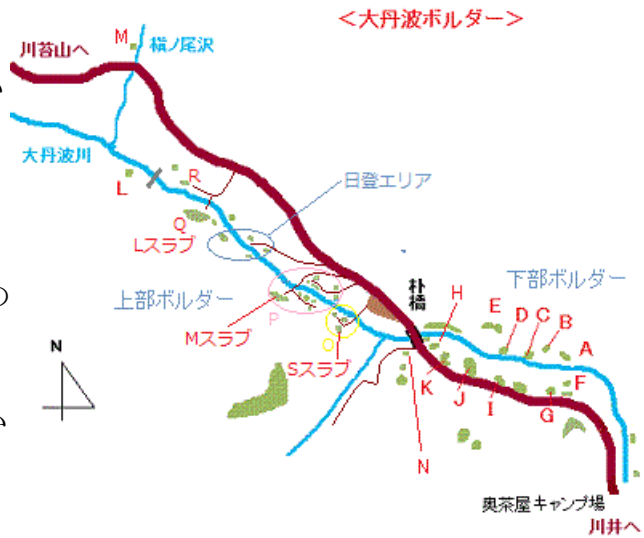
左:Sスラブ東面 右:Sスラブ北面

この岩はハイボルダーだが、下地が安定しており、核心も下部なので、まだ脆い部分はあるものの、落ち着いて登れば問題はない。

東面はスラブで北面はフェイス。北面の下部トラヴァースが面白い。東面のガバからこのトラヴァースラインに入る課題は未解決である。

左:Sスラブ北面前の川側のボルダーで側面に幾つか課題がある。川側のハングは他者により登られている。

右:上流側の小さなボルダーで増水すると取り付けない。中央のラインは穴を使ってスタート。



●M スラブエリア

M スラブは以前は蔓や苔に覆われており目立たない岩であったが、現在は苔がきれいに落とされ、加えて、林道側の植木の枝打ちがされたため、しっかりと林道から見えるようになってしまった。アプローチは駐車スペースから30m程先に進むと左に下降用の踏み跡があり、川の側に左岸ボルダーの最初の岩(川沿いのボルダー)が見える。下って、上流側に進むと「夫婦岩ボルダー」、川沿いのボルダーの横を右岸に渡ると「緑のトンネル岩」方面に行ける。M スラブはその上流の右岸にある。

左:川沿いのボルダー

右:ルーフ岩はリップスタートからのハング越え。



左:夫婦岩は取り付きが水際なのであまり良くない。

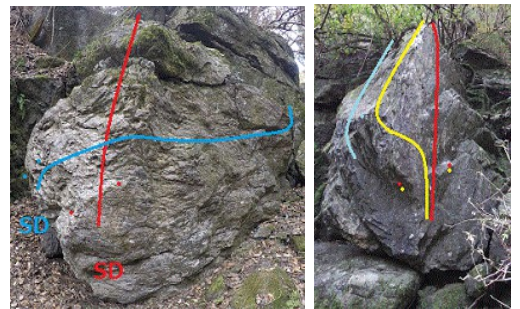
中央:山側のボルダー。地味だがトラヴァース課題が面白い。

右:上流側の岩はハング越え。



左:右岸ボルダーの下流の岩。トラヴァース課題の1手がちょっと悪い。

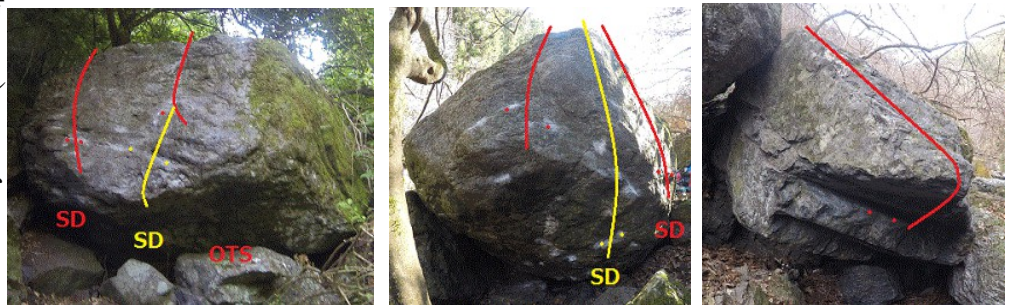
右:「緑のトンネル岩」の下流側にあるボルダー。



左:緑のトンネル岩下流側。

中央:緑のトンネル岩上流側。黄色のSD課題が面白いが、身体大きい人はスタートが窮屈に感じられると思われる。

右:上流側のルーフの岩



○M スラブ

「帯に短し襷に長し」で、ボルダーとしては大きすぎ、リードルートとするにはちょっと小さいかと思われる岩なので、ボルト設置用の穴を空けては見たが、結局、今後ボルダートライをするものが出てくる可能性があるため、トップロープエリアとした。今後はリードルートエリアにし



たい人が、自己責任でボルトを設置しても一向に構わない。

ラインは左のフェイスを除き、きれいなスラブであるが、細かなホールドを繋げていくフェイス的なムーヴなので、気持ちよく登れる。グレードは、右の黄色ラインで 5.11 程度。

もしトライされる場合は、岩上の木を支点とするので転落に注意していただきたい。

●Lスラブ(Q)&堰堤下ボルダー(R)&L岩

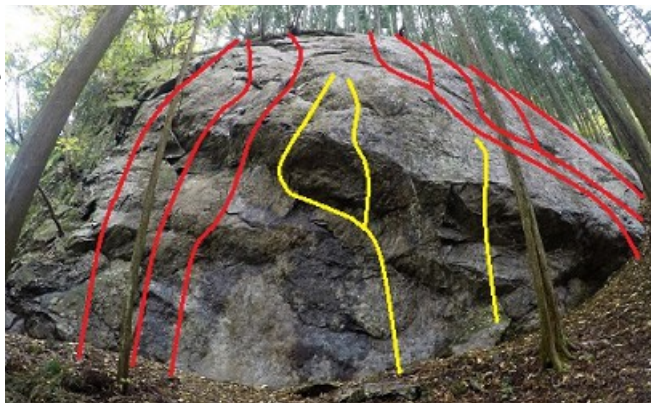
アプローチは、朴橋から500m程先に行った道路のふくらみに駐車して、徒歩で50m程進んだ所から檜の植林帯の踏み跡を谷に下降する。降りたところから対岸に渡るとLスラブ、擁壁を上流側に少し行くと堰堤下ボルダーがある。

○Lスラブ

れっきとした高さ15m程の岩場で、ボルダーではないのでトップロープの岩場とした。左側から中央下にかけてはフェイスからハング、中央上部から右にかけてはスラブとなっている。

中央部分のハング越えのラインが 5.11 程度でそこそこ楽しめる。途中でレストできてしまうため、リードラインにはしなかったが、個人の責任でやってもらっても構わない。夏季はMスラブ程ではないが、結露が酷く苔が発達しやすい。

登る場合は、上部の木にスリングでアンカーを取るが、傾斜地なので転落には十分注意していただきたい。



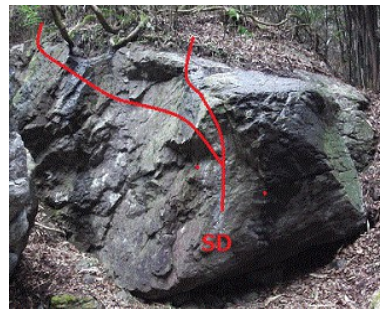
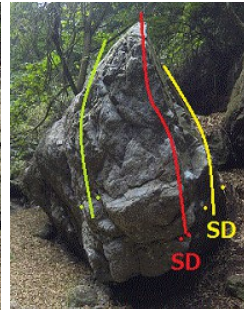
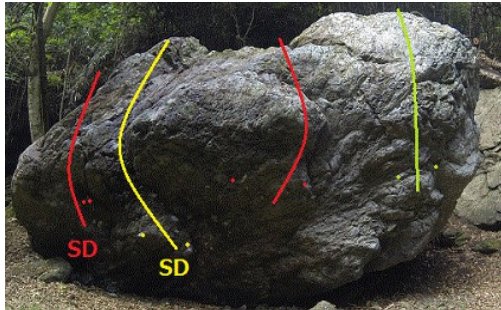
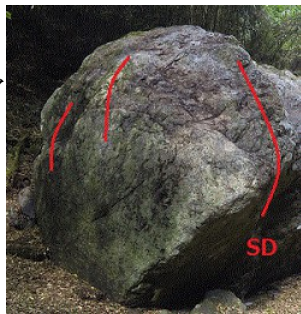
○堰堤下ボルダー

上段:前の岩

下段:後ろの岩

ボルダーはメインの前の岩と後ろの岩があり、SD 課題が幾つか設定されている。岩は大きいが高さが無いのが少々残念。

最近他者によるチョーク跡も見られたため、難しい課題が設定されている可能性がある。



○L岩

昔登った岩で、川原が荒れ登れなくなっていたが、また登れるようになったという情報あり(2020年現在)

